

2024年度 事業所における自己評価結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・ 鄭瀬 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15	10		その日の活動内容や、児童に応じて配置変えをし必要なスペースを設けている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	21	4			
	3	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		8	17		一部バリアフリーになっていない箇所は、スロープを都度設置するなど対応している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参加しているか	8	14	3	職員間で会議以外の場でも意見交換や情報交換をし、業務改善に努めている	定期的な会議の継続
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	16		会議や回覧方式で職員間で意見を共有し、業務改善につなげている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等を公開しているか	17	8			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		15	10		外部評価は受けていないが、今後必要であれば実施していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	18	7		・郷土行動障害支援者養成研修、市の子ども部会が主催する研修会などに参加した。 ・受講した研修の報告書が回覧で閲覧ができるので、受講していなくても知識として向上することができる。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	20	5		・児発管が面談などをした内容を、閲覧することが都度できる。 ・利用者やその家族の現状を踏まえて計画を作成している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	19	6		障害の種別(知的発達、医ケア、重心)により、フェースシートの内容が異なり分かりやすい。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	25			・活動の進行担当が固定化しないように、週ごとに変えている。 ・活動内容を進行担当が決めてはいるが、負担にならないように、その他の職員も協力して考えている。	
	12	活動プログラムが固定化しない様工夫しているか	8	14	3	進行担当を週ごとで代えることで初めて行う活動も増えた。	課外活動(公園遊び)が固定化している気もするが、利用者が一番望んでいる活動なので…難しい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	14	6	利用時間が長くなるので、時間に考慮した活動内容を組んでいる。	未就学児と就学児が同じ時間に同じ空間で利用となるので、人員的に難しい部分もある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	14		利用児の特性に合わせて個別対応も行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	18	7		活動内容をその日の進行担当が主となり、職員同士で確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	8	10	7	終了時間が一定ではないため、伝達が必要なものについては各管理者へ報告し、管理者から全体へ共有をしている。	支援終了後には打合せはできていない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	12	9		記入する職員によって差があるため、改善していきたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	16	9			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
適切な支援の提供	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	11	14		課外活動をすることで、地域の方々との交流ができています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	25				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	21	4		管理者が中心となり行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	25			医療的ケア実施に関しては、必ず主治医に指示書の起債をお願いしている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	20	5			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	23	2		医療的ケアがある利用者に関しては、処置の仕方などを実際に見学していただいている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	11		必要がある利用者に関しては随時行っている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	10	8	課外活動(公園遊び)の際に、一緒に交流できる時もある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	18		参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	18	7		送迎時やオンライン(電話を含む)により、必要な時に情報共有などを行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携 保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		18	7		行っていない。デイで行っている対応の共有を行っている。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	19	6		契約時に管理者が行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	12	13		送迎時等に相談を受けた際など情報を職員間で共有し、保護者に対して支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		9	16		保護者同士の情報交換などの機会をもてるよう検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	12		迅速に対応できるように体制を整備している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信してるか	23	2		定期的(2ヶ月毎)におたよりを配布し、発信をしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	25			取り扱いについて、保護者や職員間でも共有し徹底を心掛けている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	19	6		・利用者やその家族に寄り添った対応を心掛けている。 ・配慮すべき家庭については職員間で情報共有をし、対応に気を付けている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12	6	7	ご家族も参加可のイベントを開催している。	機会があれば、地域と関われるイベントも行っていきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	19	6		各マニュアルを作成し、いつでも見れるよう掲示している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	25			定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	22	3		今年度も研修に参加、事業所内でも研修報告を含め行った。参加できなかった職員へは回覧で資料を確認していただいている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	18	7		契約の際に、法人で決められている内容を保護者に説明し同意を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	25			医師からの指示書や保護者からの具体的な起債をもとに、アレルギーに対して対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	25			ヒヤリハットは積極的に報告されており、対応策の検討・改善に取り組んでいる	

集計・作成日：2025年3月31日